

## 桐光会へのお礼メッセージ(2017年度春学期)

---

### #1

この度は、桐光会奨学金に採用して頂き誠に有難うございます。母子家庭で家計が苦しい状況でしたが、生活支援奨学金に採用して頂いたお陰でこれからも目白大学で学業に専念することができ、喜びを感じております。これからはご支援頂いた桐光会の皆様への感謝の気持ちを忘れず、より一層学業に励んでいきたいと思っております。最後になりますが、桐光会の皆様へ心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。

韓国語学科奨学生本人

### #2

この度は桐光会奨学生に採用して頂き、誠に有難うございました。両親共に働いておりましたが、家庭の経済状況が元々苦しいところ、今年に入り父の自営業の仕事量と収入が減ってしまいました。今までの3年間はやっとの思いで納めることができていましたが、経済的に学費を納めることが困難で最悪退学するしかないというところまで来ておりました。今回の生活支援奨学金に採用して頂いたことで学納金を納めることができ、4年生として在籍することができることに大変感謝しております。卒業までより一層勉学に力を入れて過ごしていきたいです。桐光会の皆様、そしてお力添えを頂きました教職員の方々に心より御礼申し上げます。本当に有難うございました。

地域社会学科奨学生本人

### #3

この度は、「生活支援奨学金」希望者多数の中、私を採用して頂きありがとうございます。私は母子家庭のため、アルバイトもしていますが学費の負担は大きく、少しでも親の負担を軽減させたいと思い申請させて頂きました。今は就職活動中で、大変ですが本校で学んだことや検定取得を活かせる仕事に就きたいと頑張っています。支援して頂いた御礼を忘れず、卒業まで今後も学業を努力していきたいと思っております。改めまして「桐光会」の皆様、心から御礼を申し上げます。

ビジネス社会学科奨学生本人

### #4

この度は桐光会奨学金制度に採用して頂き、誠にありがとうございます。家庭の事情により、経済的に困難な状況でした。そのため、学納金を収めることが難しく、日々不安を抱えて大学生活を過ごしていました。そんな状況のなか、桐光会奨学金制度のことを知り、ご支援をして頂くことになりました。これから長期間の実習、国家試験と忙しくなりますが、残りの学生生活も、「作業療法士になる」という目標に向かって努力していきたいと思っております。桐光会の皆様、そして、親身に相談に乗って下さった事務職員の皆様には深く感謝しております。本当にありがとうございます。

作業療法学科奨学生本人

#5

この度は、桐光会生活支援奨学金に採用していただきまして誠にありがとうございます。この奨学金のおかげで無事学納金を納めることが出来、勉学に専念出来る環境を整えられたことを大変嬉しく思います。今回奨学生に採用していただいたことへの感謝を忘れず、今後も卒業まで精進して参りたいと思います。桐光会の皆様、この度は本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

人間福祉学科奨学生本人

#6

この度は、桐光会生活支援奨学金の給付を認めていただき、有難うございました。この奨学金のお陰で学費、就学費に充てることができ、また大学へ通い続けることができました。そのため、経済的負担が大きく減り、確実な卒業に向けて大学へ通う意欲が高まり、現在の就職活動に対して専念することができます。また、私の母の経済的負担も減り、母自身の負担も軽くなりました。心から感謝しております。末筆ながら、桐光会の会員の皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

心理カウンセリング学科奨学生本人

#7

この度は、桐光会の奨学生に採用して頂き、誠にありがとうございます。今年の冬に父の勤めていた職場が倒産し、私には4人の弟がおり、最終学年であるのにこのまま大学を続けることができるのか不安でした。しかし、桐光会の奨学生に採用して頂いたことで、無事に学納金を収めることができました。多くのことを学ばせていただいた目白大学で卒業まで学べることを嬉しく思います。今後控えている国家試験、就職活動により一層努めることができます。必ず国家試験に合格し、立派な理学療法士になれるように頑張ります。この度は本当にありがとうございました。

理学療法学科奨学生本人

#8

この度は、生活支援奨学金の認定をいただきまして、ありがとうございます。いただいた奨学金を無駄にすることがないように、尚一層学業に励んでいきます。また、皆様の温かいご支援への感謝を忘れないように、これからも学生生活を送っていきたいと思います。どうも、ありがとうございました。

メディア表現学科奨学生本人

#9

この度は桐光会奨学金制度に採用して頂き、本当にありがとうございました。2年前父が亡くなり、経済的に困難な状況にありました。今後大学へ進学予定の兄弟もいて、私自身実習や授業が多い中でアルバイトを増やすこともできず困っていたところ、桐光会奨学金制度を知り、ご支援して頂くことになりました。今後の学生生活は桐光会奨学生として気を引き締め、国家試験に向け一層努力していきたくと思っています。本当にありがとうございました。

看護学科奨学生本人

#10

この度は、私に桐光会の生活支援奨学金を給付して下さい、誠に有難う御座いました。普段、学納金は私自身の貯金から捻出しているのですが、今学期の納入額は昨年のものより多く、日本学生支援機構から借りている奨学金と短期アルバイトで稼いだ収入を合わせても、納入額の三分の二程の金額にしかならず、途方に暮れていました。生活資金を切り崩してまで私を大学に通わせてくれる両親には頼ることもできず、八方塞がりだったところ、桐光会の奨学金制度のことを知り、応募させていただきました。採用していただけるかどうか、とても不安だったのですが、学生課から奨学金の採用通知書いただいたとき、嬉しくて涙がこぼれそうになりました。これで金銭の心配なく学業に専念できます。大好きな心理学を学び続けることができます。本当に有難う御座いました。今後も私のような金銭的に不利を抱える苦学生の方々に、ぜひとも手を差し伸べて下さるようお願い申し上げます。

心理カウンセリング学科奨学生本人

#11

この度は、桐光会生活支援奨学金の審査並びに支給に向けてお取り計らいいただけたと同時に給付いただけますことを心より感謝申し上げます。奨学金を給付いただいたことにより、御陰様でより一層勉学に専念出来ます。同時に充実した学生生活を送れることに喜びを感じております。今後も誠意をもって学生生活に邁進して参ります。最後に桐光会生活支援奨学金に採用して頂いたことを重ねてお礼申し上げます。

子ども学科奨学生本人

#12

この度は、桐光会奨学金に採用して頂き誠に有難うございます。私の家庭は母子家庭であり、母の収入と私のアルバイト代、奨学金で入学当初から学納金を納めていました。しかし弟が中学生という事もあり、経済的に苦しく、アルバイトを掛け持ちするべきか悩んでいた頃に桐光会の奨学金制度を知りました。生活状況の旨を学生課の方に相談し、ご協力して下さいましたこともあり、桐光会奨学生に採用して頂き、無事に学納金を納める事が出来ました。心から御礼を申し上げるとともに、今後も目白大学の学生として学業に専念いたします。本当にありがとうございました。

韓国語学科奨学生本人

#13

この度は、桐光会奨学金生として採用いただき、本当にありがとうございました。金銭的に余裕がない状況のため、基礎を固めたい大事な時期をアルバイトに時間を使い、実技試験や国家試験への勉強時間が確保できず、学生生活への不安や悩みが増えていたと思います。そんな状況の中、桐光会奨学金制度のことを知りました。桐光会奨学生として、また、桐光会の方々が落胆されぬよう、より一層勉学に励みを引き締めていきます。本当にありがとうございました。

理学療法学科奨学生本人

#14

この度は桐光会奨学生に採用していただき、誠にありがとうございました。今年に入ってから母の持病が急に悪化し入院と手術が決まり、医療費を用意しなければならなくなったため、学納金を納めることが難しくなっていました。最終学年で就職活動や国家試験を控えている中、卒業ができるのかと不安に思っていたとき、桐光会奨学金制度を知り採用して頂けることとなりました。御支援を頂けたことで、母の手術も無事に終わり、私も安心して目白大学での学修を続けることができています。今後は桐光会奨学生としてより一層の努力を重ね、看護を通して社会に貢献できるよう努めていきたいと考えております。最後になりますが、桐光会の皆様、お忙しい中相談に乗ってくださった学生課の職員の皆様、本当にありがとうございました。

看護学科奨学生本人

#15

この度は生活支援奨学金の給付をしていただき誠にありがとうございます。夢があり大学進学したものの母子家庭で学納金を納めるのが困難だったので、今回の奨学金は本当に助かりました。この度の給付がなければ大学生活を続けていけるかどうかというような状況だったので心から感謝しています。本当にありがとうございます。このような支援金があるおかげで私自身かなり助けられましたし、私以外の人もとても助かっていると思います。このような支援を無駄にすることのないよう、頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

心理カウンセリング学科奨学生本人

#16

この度は、桐光会生活支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私は母子家庭で三姉妹の長女であり、小学生の妹がおります。母は高校卒業後、就職することを勧めていたのですが、私が進学したいと伝えると快くその思いを受け止めてくれました。仕事を掛け持ちし、私たち3人の生活を支えてくれていますが、私のアルバイト代と合わせても生活は苦しいものになってしまうため、申請させていただきました。この度給付いただいたことに感謝し、これからも努力を惜しまず、勉学に励みたいと思います。本当にありがとうございました。

生活科学科奨学生本人

#17

この度、奨学金を支給していただき誠にありがとうございます。父の給料が少ないこと、母が難病で働くことができなくて厳しい状況でした。私もアルバイトをいくつも掛け持って、家に迷惑をかけないようにしていたのですが、毎日寝不足の日々が続いていました。そのため今回奨学金を給付していただきますこと、本当に感謝しています。今まで以上に学生の本分を忘れず学業に力を入れていきたいと思います。桐光会の皆様、心から御礼申し上げます。

心理カウンセリング学科奨学生本人

#18

この度は桐光会奨学生に採用していただきまして、誠にありがとうございます。母子家庭のため経済的余裕がない状態で大学生活を送っていましたが、祖母や親戚の介護のために母が退職し、これからの大学生活を続けるのに不安を感じていました。しかし、桐光会奨学生に採用して頂き、無事学納金を納めることができました。この支援のおかげで学業に専念することができます。心より感謝しております。感謝の気持ちを忘れずに、作業療法士になれるように、精一杯勉学に励みたいと思います。本当にありがとうございました。

作業療法学科奨学生本人